

# SQL Slammer 修正モジュール適用手順書

2003年5月8日

N E C

# 目次

はじめに .....	3
1．適用する修正モジュールについて .....	4
2．適用前の準備 .....	4
2．1 修正モジュールの準備 .....	4
2．2 表示言語の変更（日本語 英語） .....	4
3．適用 .....	4
3．1 修正モジュールの適用 .....	4
3．2 修正モジュールの適用確認 .....	5
4．適用後の処理 .....	5
4．1 修正モジュールの削除 .....	5
4．2 表示言語の変更（英語 日本語） .....	5

## はじめに

本修正モジュールは SQL Slammer ワーム対策として提供する修正モジュールです。

適用対象機種は iStorage NS シリーズ(NS21P、NS410、NS610、NS810G、NS41P、NS420) です。

上記以外の機種には適用できませんのでご注意ください。

本モジュールの適用には"SQLCritUpdPkg\_ENU.exe"英語版を使用します。

尚、"SQLCritUpdPkg\_ENU.exe"英語版は以下はMicrosoft社サイトからお客様自身にて入手してください。

**[SQL Slammerワーム対策 情報掲載サイト]**

<http://www.microsoft.com/technet/treeview/default.asp?url=/technet/security/virus/alerts/slammer.asp>

**[SQL Slammerワーム対策モジュール ダウンロードサイト]**

<http://microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=9552D43B-04EB-4AF9-9E24-6CDE4D933600&displaylang=en>

上記URLより"SQLCritUpdPkg\_ENU.exe"をダウンロードします。

## 1 . 適用する修正モジュールについて

- SQLCritUpdPkg\_ENU.exe

## 2 . 適用前の準備

### 2 . 1 修正モジュールの準備

iStorage NS内の共有フォルダに、以下のファイルをコピーします。

- SQLCritUpdPkg\_ENU.exe

### 2 . 2 表示言語の変更（日本語 英語）

- (1) 管理PCのWebUIから[メンテナンス] [ターミナルサービス]を起動し、ログインします。
- (2) [スタート] [設定] [コントロールパネル]を起動します。
- (3) 一覧から"地域のオプション"をダブルクリックします。
- (4) [全般タブ]-[メニューとダイアログ]を English に変更し[OK]ボタンを押します。
- (5) 以下のメッセージが表示されますので[Yes]ボタンを押します。  
「UI言語の変更は、ログオフして再度ログオンするまで、無効です。  
このコンピュータのユーザー全員に対して新しいUI言語を変更しますか？」
- (6) WebUIの[メンテナンス] [シャットダウン] [再起動]をクリックし iStorage NSを再起動します。

## 3 . 適用

### 3 . 1 修正モジュールの適用

iStorage NSが再起動した後、"SQLCritUpdPkg\_ENU.exe"を適用します。

- (1) 管理PCのWebUIから[メンテナンス] [ターミナルサービス]を起動し、ログインします。
- (2) エクスプローラを起動し、上記EXE形式ファイルを選択し起動します。
- (3) ターミナルサービス画面の指示通りに進み、" The package has been delivered successfully"と表示されますので[OK]を押します。
- (4) エクスプローラで手順(3)にて指定したフォルダに作成された SQLCritUpdWiz\_ENU.msiを起動します。  
(手順(3)でデフォルトの指定で進んだ場合、SQLCritUpdWiz\_ENU.msi は、"C:¥SQLCritUpdPkg"フォルダに作成されます。)
- (5) WebUIの[メンテナンス] [再起動]より、iStorage NSを再起動します。

### 3 . 2 修正モジュールの適用確認

iStorage NSが再起動した後、以下の確認を行います。

- (1) 管理PCのWebUIから[メンテナンス] [ターミナルサービス]を起動し、ログインします。
- (2) "C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL\$MicrosoftSAMDM¥Bin¥ssnetlib.dll"の[プロパティ] [バージョン情報]タブにてバージョンが"2000.80.479.0"であることを確認します。

## 4 . 適用後の処理

### 4 . 1 修正モジュールの削除

適用した修正モジュール(「2 . 1 修正モジュールの準備」項目で用意したファイル) と、 "C:¥SQLCritUpdPkg" フォルダを削除します。

### 4 . 2 表示言語の変更 (英語 日本語)

メニューとダイアログを"日本語"に戻します。上記で使用していたターミナルサービスにて行います。手順を以下に説明します。

#### メニューとダイアログの変更方法

- (1) [Start] [Settings] [Control Panel]を起動します。
- (2) 一覧から"Regional Options"をダブルクリックします。
- (3) [General]-[Menu and dialogs]を 日本語 に変更し[OK]ボタンを押します。
- (4) 以下の確認メッセージが表示されますので[Yes]ボタンを押します。  
「Changes to the UI Language will not take effect until You logoff and logon again. Do you want the new UI Language to be changed for all users on this machine?」
- (5) WebUIの[メンテナンス] [シャットダウン] [再起動]をクリックし iStorage NSを再起動します。

以上で修正モジュールの適用は完了です。